

2025年
4-9月期

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、拡大基調にある。

●2025年4-9月期 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや良い

個人消費



やや良い

建設関連



ふつう

観光関連



やや良い

企業倒産



ふつう

雇用状況



やや良い

2025年4-9月期の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回りました。百貨店売上高は前年同期を上回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数は、ともに前年同期を上回りました。

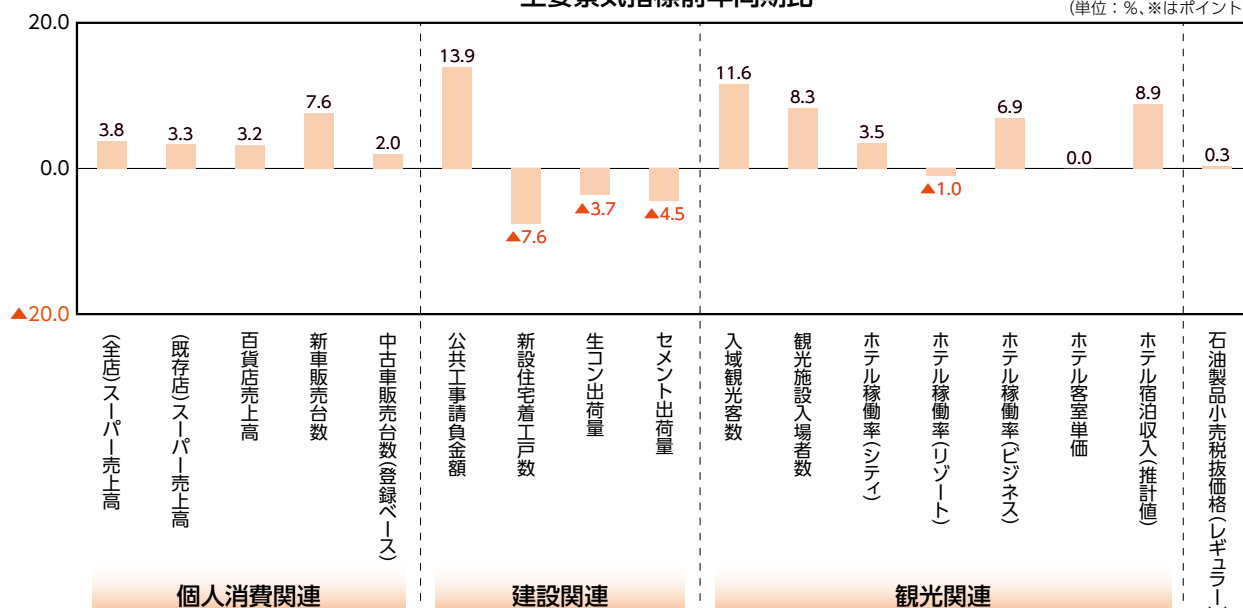
建設関連では、公共工事請負金額は前年同期を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を下回りました。建設資材である生コン・セメントはともに前年同期を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は、前年同期を上回りました。観光施設入場者数は、前年同期を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルは前年同期を上回り、リゾートホテルは前年同期を下回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）は前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、拡大基調を維持しています。建設関連は、このところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、**「拡大基調にある」**と景気判断をしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、※はポイント)





個人消費



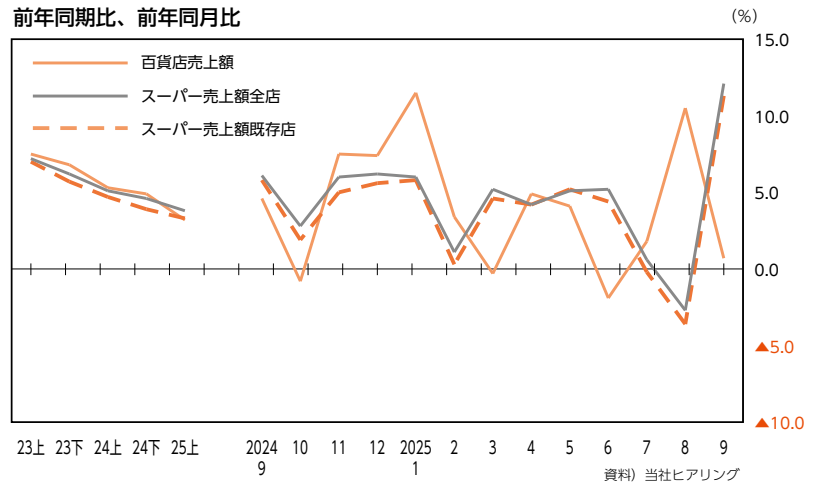
(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

2025年4-9月期の個人消費関連は、**スーパー売上高「全店ベース（前年同期比3.8%増）」**は、前年同期を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同4.6%増）」は、物価高による単価上昇などにより、前年同期を上回りました。「衣料品（同4.1%増）」は、季節商材の販売好調などにより前年同期を上回りました。家電を含む「家庭用品（同0.5%減）」は、前年に実施された県の省エネ施策の反動などにより前年同期を下回りました。

「既存店ベース（同3.3%増）」は、前年同期を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同4.0%増）」は、物価高騰の影響などにより、前年同期を上回りました。「衣料品（同4.3%増）」は、季節商材の販売好調などにより前年同期を上回りました。「家庭用品（同1.7%減）」は、前年に実施された県の省エネ施策の反動などにより前年同期を下回りました。

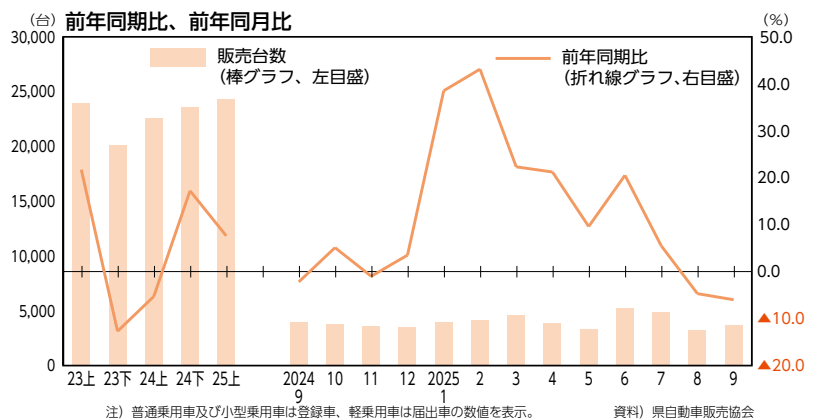
百貨店売上高（同3.2%増）は、インバウンドを含む観光客数の増加などにより前年同期を上回りました。内訳をみると、ウェイトの高い「食料品（同3.4%増）」は、来客数の増加などにより売上が伸び前年同期を上回りました。「衣料品（同2.7%増）」は、季節商材の販売好調などにより前年同期を上回りました。「雑貨（同2.7%増）」、「身の回り品（同2.0%増）」は、インバウンドを含む観光客からの売り上げ好調などにより前年同期を上回りました。



② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同期を上回る。

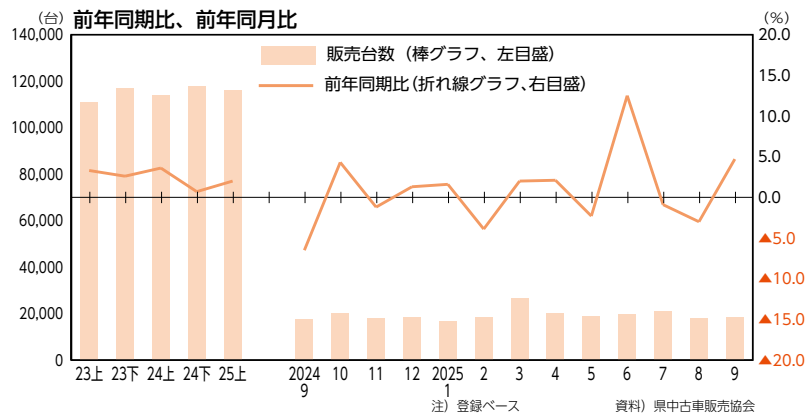
新車販売台数は、全体で24,323台(同7.6%増)となり、前年同期を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同8.7%増)」、「小型乗用車(同6.1%増)」、「軽乗用車(同9.3%増)」は、一部メーカーの出荷停止の反動やレンタカー台数の増加などにより前年同期を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



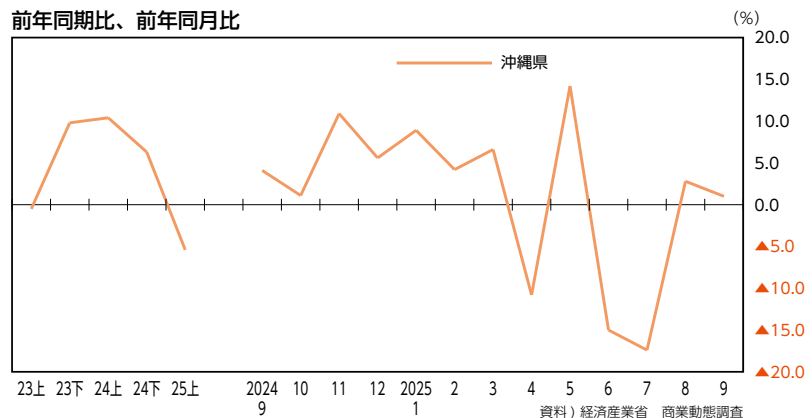
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は、前年同期を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で116,139台（同2.0%増）となり、前年同期を上回りました。車種別では、「乗用車（同1.3%増）」、「軽自動車（同2.4%増）」ともに前年同期を上回りました。



④ 大型家電専門店販売額…大型家電専門店販売額は、前年同期を下回る。

大型家電専門店販売額は前年同期を下回りました。

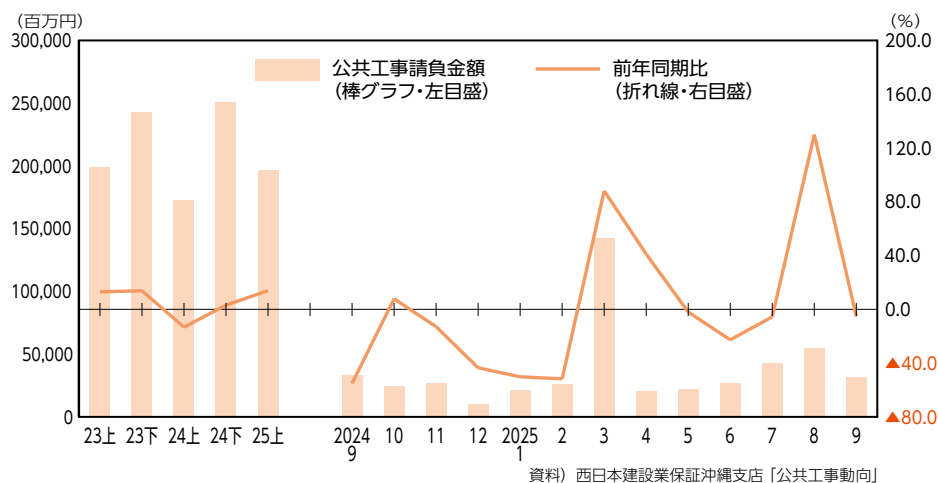


建設関連



(ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

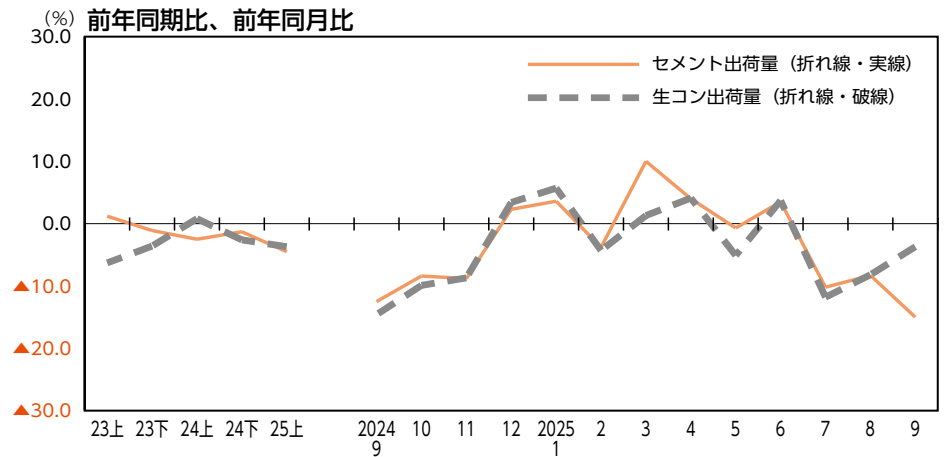


2025年4～9月期の公共工事請負金額は、前年同期比13.9%増の1,966億9,900万円となりました。発注者別でみると、「国(同94.7%増)」、「沖縄県(同10.4%増)」は前年同期を上回りました。一方、「独立行政法人等(同82.8%減)」、「市町村(同7.9%減)」、「その他の公共的団体(同28.2%減)」は前年同期を下回りました。



② 建設資材…生コン・セメントともに前年同期を下回る。

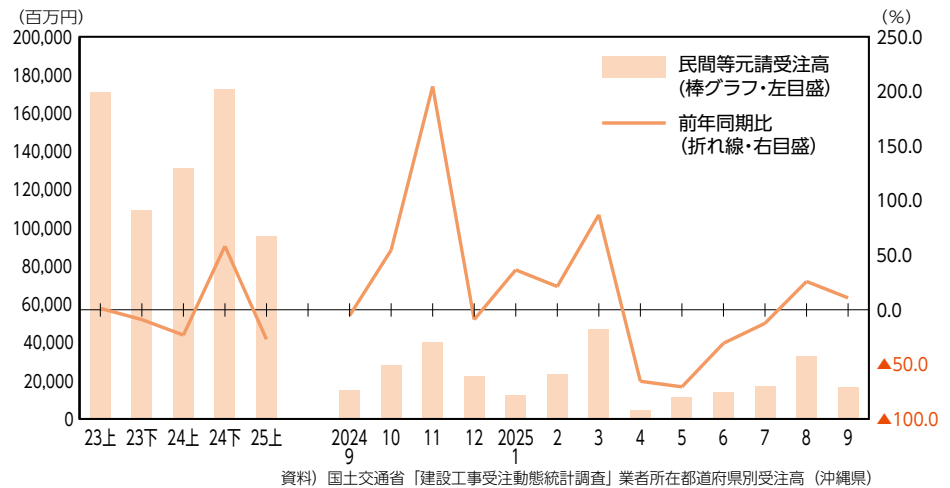
建設資材関連では、**生コン**の出荷量は3.7%減と前年同期を下回りました。内訳では、民間工事向けは前年同期より2.7%下回り、公共工事向けは5.9%下回りました。**セメント**出荷量は4.5%減と前年同期を下回りました。



資料) 当社ヒアリング等による

③ 【参考】民間等元請受注…民間等からの元請受注高は前年同期を下回る。

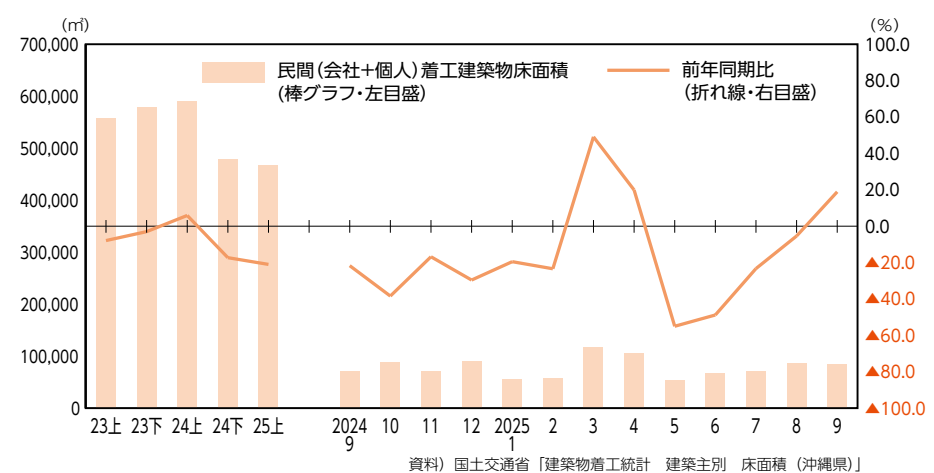
2025年4-9月期の民間等からの元請受注高は、27.1%減と前年度同期を下回りました。



資料) 国土交通省「建設工事受注動態統計調査」業者所在都道府県別受注高 (沖縄県)

④ 【参考】民間着工建築物床面積…民間(会社+個人)着工建築物の床面積は前年同期を下回る。

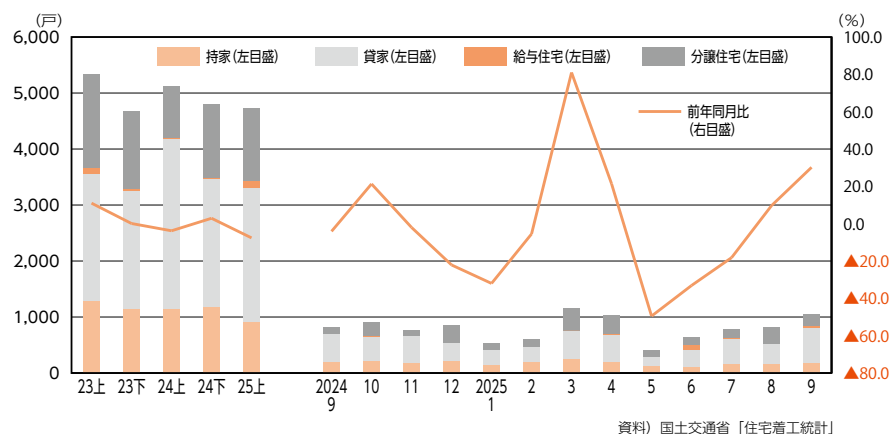
2025年4-9月期の民間(会社+個人)着工建築物の床面積は、21.0%減と前年度同期を下回りました。



資料) 国土交通省「建築物着工統計 建築主別 床面積 (沖縄県)」

⑤ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を下回る。

新設住宅着工戸数は、全体で4,736戸となり7.6%減と前年同期を下回りました。利用別戸数をみると、「持家（同20.8%減）」、「貸家（同21.2%減）」は前年同期を下回りました。一方、「分譲住宅（同41.8%増）」、「給与住宅（同367.9%増）」は前年同期を上回りました。



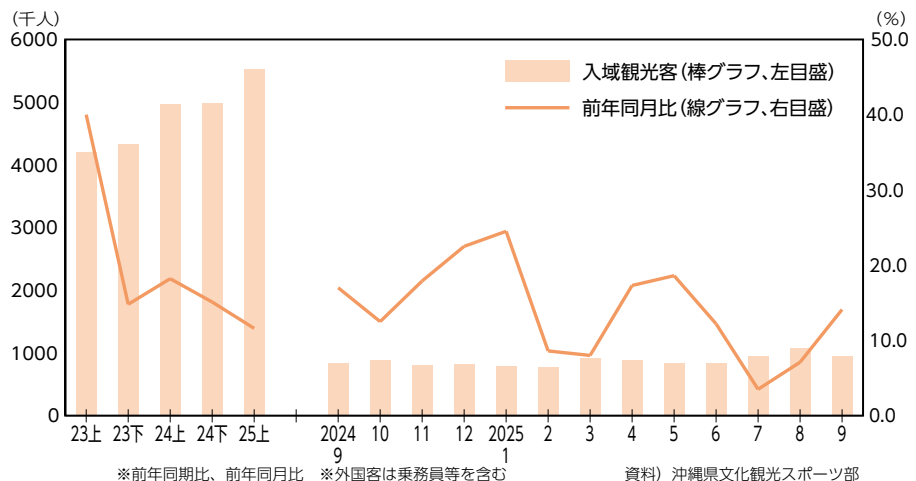
観光関連



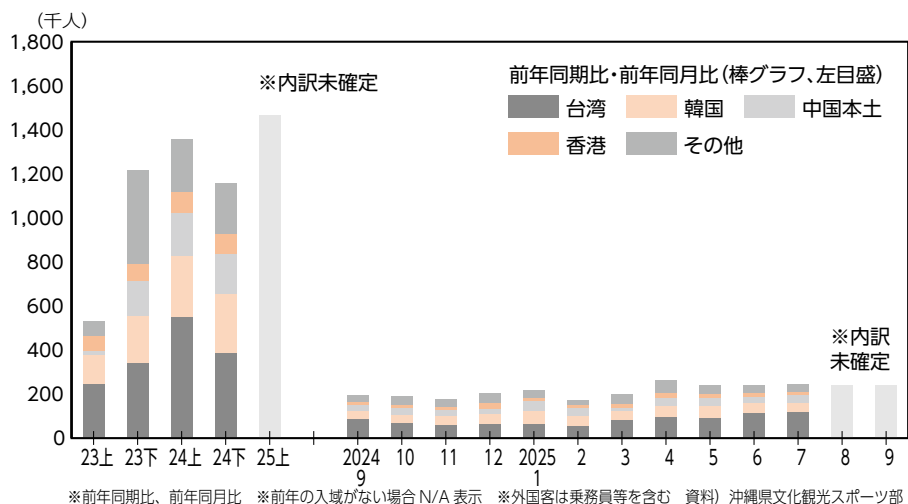
(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を上回る。

2025年4－9月期の入域観光客数は553万4,700人となり、前年同期を上回りました(11.6%増)。外国人観光客の増加などから、前年同期を上回りました。
外国客は今後も外国客数の緩やかな回復が見込まれています。



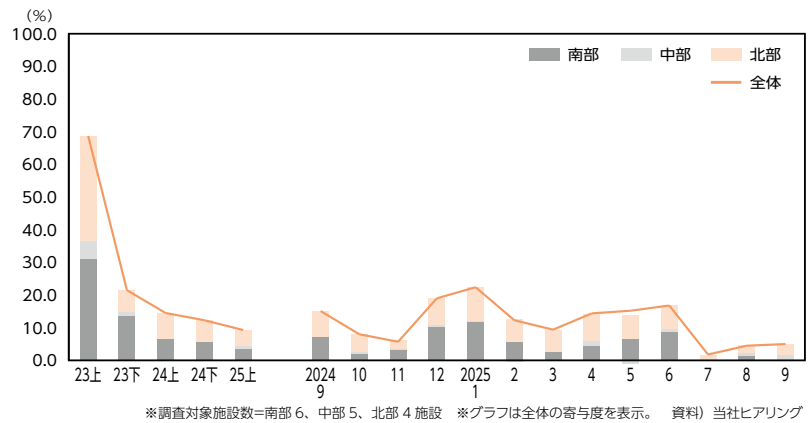
外国客 入域観光客数…前年同期を上回る。





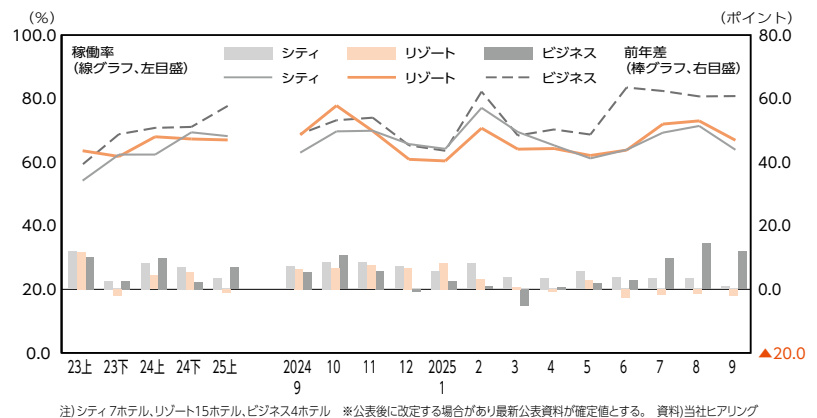
② 観光施設入場者数…前年同期を上回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同期より8.3%増加しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同7.9%増、中部は同5.5%増、北部は同4.4%増となりました。



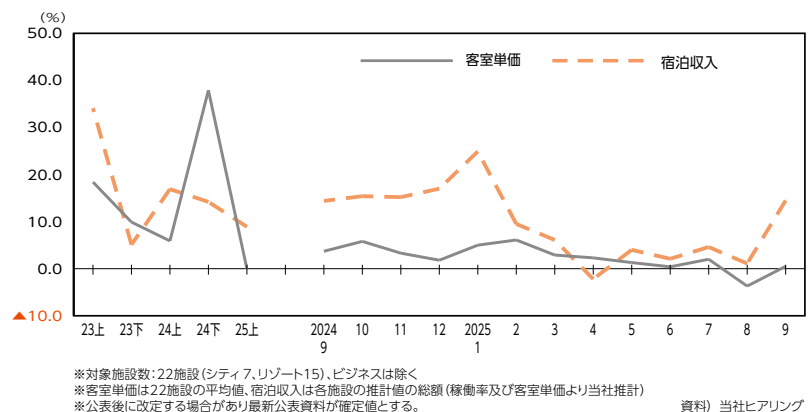
③ ホテル稼働率…シティホテル、ビジネスホテルは前年同期を上回り、リゾートホテルは前年同期を下回る。

2025年4-9月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが68.2%と前年同期差3.5ポイント上昇、リゾートホテルが67.0%と同1.0ポイント低下、ビジネスホテルは77.7%と同6.9ポイント上昇しました。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同期並み、宿泊収入は前年同期を上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート) は前年同期並みとなりました。**宿泊収入**は同8.9%増と前年同期を上回りました。





企業倒産

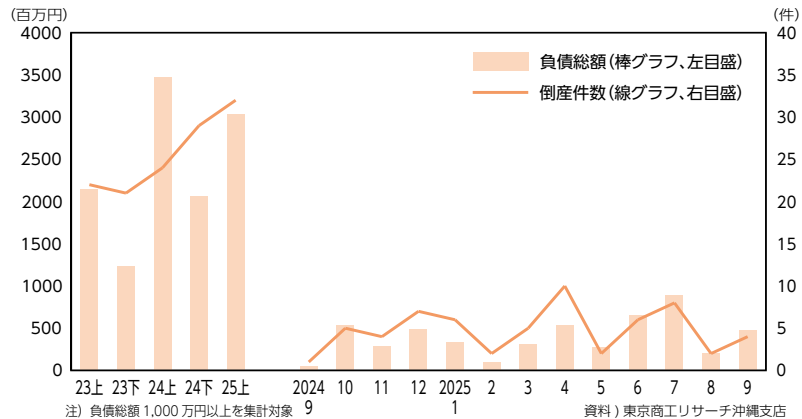


(ふつう)

企業倒産…件数は前年同期を上回り、負債総額は前年同期を下回る。

2025年4－9月期の企業倒産件数

は、32件（うち負債総額1億円以上10億円未満の大口倒産は13件）となり、前年同期より33.3%上回りました。負債総額は30億4,200万円となり、前年同期より12.6%下回りました。



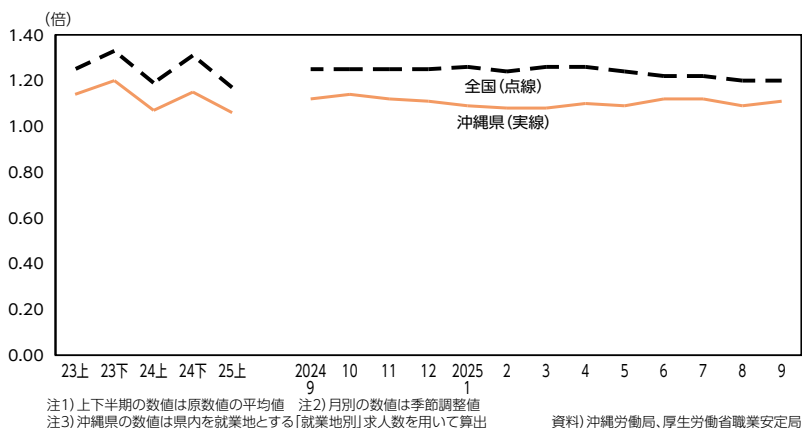
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前年同期より低下。

2025年4－9月期の雇用状況は、有効求人数(原数値平均)は前年同期比5.2%減の29,701人に対して、有効求職者数(同上)は前年同期比4.4%減の28,040人となり、有効求人倍率(同上)は1.06倍と、前年同期より0.01ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄は前年同期より低下、全国は前年同期と同水準。

完全失業率(原数値平均)は、3.2%となり前年同期より0.1ポイント低下しました。

